

DMM ビューア

GDM-8261A/8261/8200A シリーズ用

リモートビューアーガイド

GW INSTEK PART NO.



ISO-9001 CERTIFIED MANUFACTURER

GW INSTEK

本マニュアルについて

ご使用に際しては、必ず本マニュアルを最後までお読みいただき、正しくご使用ください。また、いつでも見られるよう保存してください。

本書の内容に関しましては万全を期して作成いたしましたが、万一不審な点や誤り、記載漏れなどがございましたらご購入元または弊社までご連絡ください。

このマニュアルは著作権によって保護された知的財産情報を含んでいます。当社はすべての権利を保持します。当社の文書による事前の承諾なしに、このマニュアルを複製、転載、他の言語に翻訳することはできません。

このマニュアルに記載された情報は印刷時点のものです。部品の仕様、機器、および保守手順は、いつでも予告なしで変更することがありますので予めご了承ください。

Microsoft、Windows XP、Windows 7、Windows Vista および Excel は、米国マイクロソフト社の登録商標です。

Good Will Instrument Co., Ltd.

No. 7-1, Jhongsing Rd., Tucheng Dist., New Taipei City 236, Taiwan

目次

〈ソフトウェアの紹介〉.....	5
〈免責事項〉.....	5
使用を開始する前に	6
パッケージについて	6
最小システム要求仕様.....	6
本書での説明内容.....	6
序章.....	7
CD-ROM の概要	8
セットアップ.....	10
接続.....	10
インストール	12
ソフトウェア・USB ドライバの削除	14
設定	16
測定.....	19
グラフ作成、記録.....	23
スキャナ機能	28
ファームウェアバージョンの確認.....	34

〈ソフトウェアの紹介〉

本取扱説明書は、GDM-8261A/8261/8255A/8251A用のPCソフトウェアについて説明しています。

本ソフトウェアは、GDM-8261/8255A/8251AをPCにUSBまたはRS-232Cで接続することでPCからDMMを操作したりPCへ測定データを取り込むことができます。スキャナカードを挿入すればスキャナのデータも取り込むことができます。

〈免責事項〉

当ソフトの著作権、他一切の権利は弊社が保有します。当ソフトの使用によって生じたいかなる障害・損害等に対しても、弊社は一切の責任を負わないものとします。あらかじめご了承ください。

ご利用に関しては、各自の責任において行って下さい。

ソフトウェアのダウンロードおよび導入は、お客様の責任においておこなっていただくようお願いいたします。また、このダウンロードに関するユーザー・サポートもおこないません。

このソフトの著作権情報(Copyright 表示)を書き換えないようにお願いします。

使用を開始する前に

安全に使用・測定をするために必ずユーザーマニュアルの安全上の注意および操作方法等をお読みいただきください。

本書では、基本的にソフトウェアの取扱について説明しています。

デジタルマルチメータ本体の設定およびスキャナカードの設定・接続については本体のユーザーマニュアルをお読みください。

パッケージについて

GDM-8261A/8261/8255A/8251A には、本ソフトウェアが入った CD-ROM が同梱されています。

最小システム要求仕様

最適なパフォーマンスを実現するためには、PC は、次の要件を満たしている必要があります。

Windows XP/2000/2003/Vista (32bit/64bit).

本書での説明内容

本書では、基本的にソフトウェアの取扱について説明しています。デジタルマルチメータ本体およびスキャナカードの設定・接続については本体のユーザーマニュアルをお読みください。

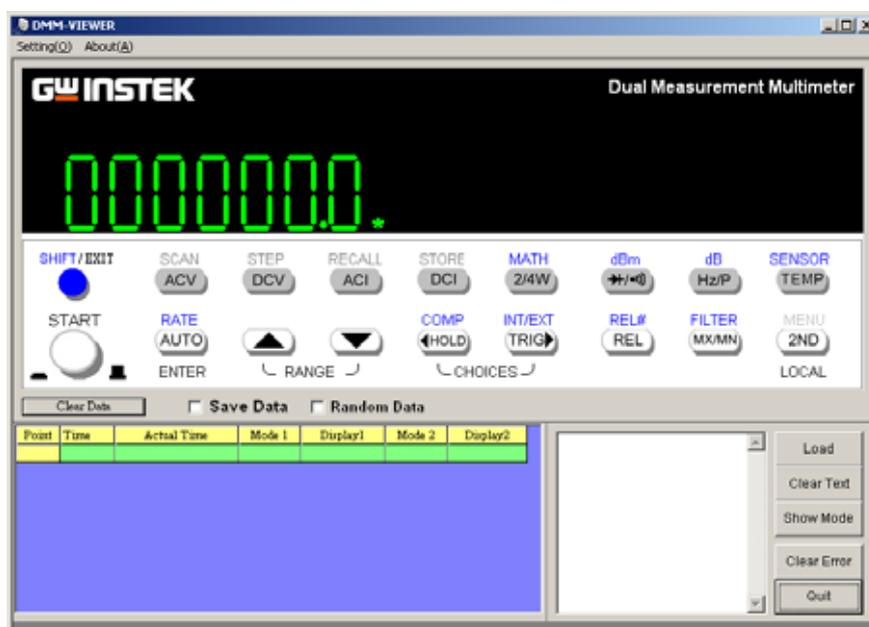
先ず初めに

本書は、ウィンドウズ OS (Windows XP、Windows 7) の PC 上で動作する PC ソフトウェア「DMM VIEWER」の使い方について説明します。

このマニュアルは以下の章より構成されます。

- セットアップ: 接続、インストール、アンインストール、設定
- 測定: 測定手順、設定
- グラフの作成/保存: データ保存、グラフ作成
- ファームウェアアップデート: ファームウェアアクセスおよびアップデートマニュアル

ソフトウェアの概観



このソフトは以下の機能を含んでいます。

- ・リアルタイム測定
- ・測定結果のリアルタイム表示
- ・測定データの保存

CD-ROM の概要

付属の CD-ROM は、ソフトのインストールおよび実行に必要なすべての項目を含んでいます。

メインメニュー

CD-ROM を PC に挿入すると自動的にメニューが開きます。もし開かない場合は、実行ファイル「Autorun.exe」をダブルクリックしてください。

Autorun.exe ファイル



メインメニュー



ウェブサイト

<http://www.instek.co.jp>

もしインターネットに接続している場合、リンクは弊社ウェブサイトへ接続します。

DMM-VIEWER

インストールメニュー

DMM-VIEWER

このメニューは、DMM Viewer をインストールし DMM ビューアのユーザーマニュアルをロードします。詳細は 10 ページ参照。

USB Driver

インストールメニュー

Install USB Driver

このメニューは、PC に DMM の USB ドライバをインストールします。ソフトウェアインストールの詳細は 10 ページ参照。

ユーザーマニュアルメニュー	DMM User Manual(English) このメニューは、DMM の英文ユーザーマニュアルをロードします。
ファームウェア アップデート ソフトウェアメニュー	Firmware このメニューはファームウェアにアクセスしアップグレードマニュアルをロードします。ファームウェア・アップグレードの詳細は27ページを参照。
CD-ROM の内容 メニュー	View CD-ROM Contents このメニューはエクスプローラー上で CD-ROM のコンテンツを開きます。
終了メニュー	Quit このメニューはメニュースクリーンを終了し閉じます。

セットアップ

接続

DMM と DMM ビューアを接続して使う場合は、以下の説明に従い、DMM の I/O 設定を RS-232C または USB モードに設定します。

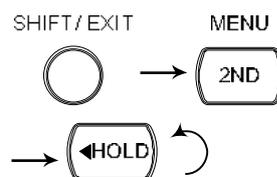
⚠ 注意: DMM ビューアを、本体を接続せずにデモンストレーションモードで使う場合、接続および設定の手順をスキップし DMM ビューアソフト(12ページ)をインストールしてください。

⚠ 注意

以下の手順は USB 接続の設定手順を説明します。RS-232C で接続する場合は、この部分はスキップし、RS-232C の設定をお読みください。

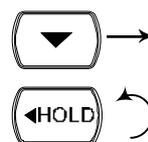
1. DMM の USB 設定

Shift キー、2ND (MENU) キーを押して、次に Left キーで I/O 構成メニューが現れるまで押す。



I/O LEVEL 1

1. Down キーを押し次に Left キーを USB 選択表示が表示されるまで押してください。



USB LEVEL 2

2. Down キーを押すと USB ON/OFF 選択メニューが表示されます。



3. USB ON または OFF の選択メニューが表示されます。UP または Down キーを押し ON に設定します。



OFF USB

4. ENTER キーを押して USB の設定を確定します。



5. EXT キーを押して設定モードを解除します。



注意

DMM の電源を落とすと、USB 設定は失われます。電源をオンしたときの設定を指定するには、DMM のユーザーマニュアルをお読みください。

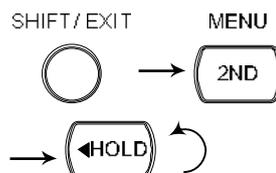


注意

以下の手順は、GDM-8261A/9261 の RS-232C 接続設定手順について説明します。USB 接続の場合は、DMM の USB 設定をお読みください。

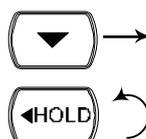
2. DMM の RS-232C 設定

1. Shift キー、2ND (MENU) キーを押し、次に Left キーを I/O 構成メニューが現れるまで押してください。



I/O LEVEL 1

2. Down キーを押して次に Left キーを RS-232C 選択表示が現れるまで押してください。



RS232 LEVEL 2

3. Down キーを押して RS-232C のボーレート選択を行う。



4. Up または Down キーを押してボーレートを選択してください。



ボーレート: 9600、19200、38400、57600、115200、230400

5. ENTER キーを押し RS232 の
ボーレートを確定します。



6. EXT キーを押しコンフィグレーションモードから抜ける。



注意

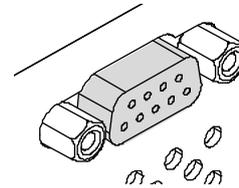
DMM の電源を再投入したときに同じ設定で起動するには本体のユーザーマニュアルをお読みください。

3. USB/RS232 ケーブル接続
1. USB または RS-232C ケーブルを背面パネルの端子に接続します。(USB は上側の端子)
RS-232C ケーブルの配線については本体のユーザーマニュアルを参照ください。

USB



RS-232C



2. USB/RS232 ケーブルのもう一方の端を PC に接続します。

インストール

ソフトを動作するためには、USB ドライバおよび DMM ビューアソフトの両方を PC にインストールする必要があります。

USB で使用する場合は、先ず初めに USB ドライバを PC にインストールしておく必要があります。

1. CD-ROM にアクセス CD-ROM メニューを開く。詳細は8ページ参照する。

2. USB ドライバをインストールする。RS-232C を使用して接続する場合、この章(USB ドライバをインストール)は、スキップして下さい。

Install USB Driver アイコンをクリックする。

Install USB Driver

1. 「USB ドライバ」ファイルの USB_Driver.inf がファイルエクスプローラに表示されます。

2. GDM-8261A/8261 の I/O 設定「USB」を ページ参照 ON します。
3. ENTER キーを押し設定を確定します。  ENTER
4. GDM-8261 の背面パネルの USB ポートと PC を接続します。
5. GDM-8261A/8261 が「新しいハードウェア」として PC に認識されます。
Windows インストールウィザードに従って USB ドライバ (USB_Driver.inf) を CD からインストールしてください。



注意

ドライバをインストールした場合、PC の再起動が必要な場合があります。

3. DMM ビューアのインストール

1. DMM-Viewer アイコンをクリック。



2. Install DMM-Viewer アイコンをクリック。



インストールウィザードが開始されますので指示に従ってください。インストール場所を設定してください。

初期設定のインストール場所は、C:\Program Files\DMM Viewer です。

プログラムのアイコンはスタートメニューにあります。



注意

ソフトウェアのバージョンについては、34ページ参照。

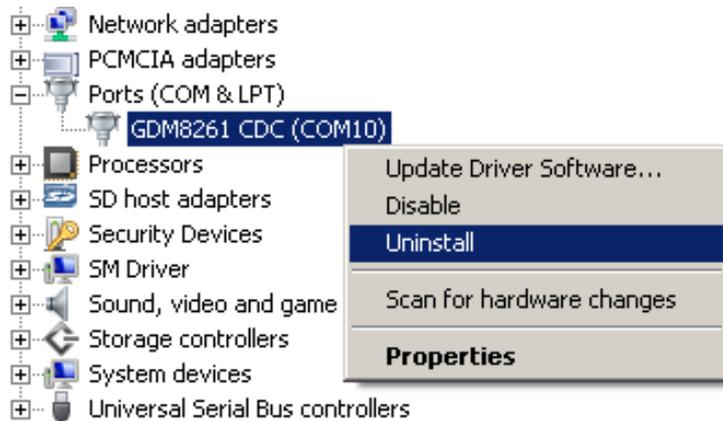
ソフトウェア・USB ドライバの削除

本ソフトウェア、USB ドライバのアップデートまたは削除が必要な場合は、この章の手順に従ってください。

USB ドライバの
アンインストール

USB ドライバを削除するには Windows のデバイスマネージャ
から行います。

1. スタートメニューからデバイスマネージャを起動します。
スタート→コントロールパネル→デバイスマネージャ
(Windows XP, Windows 7)
2. ポート(COM & LPT)をダブルクリックします。GDM8261
CDC (COMX)を右クリックし削除を選択します。



3. **Delete the driver software for this device** を選択し OK
ボタンを押します。ドライバは自動的にアンインストールさ
れます。

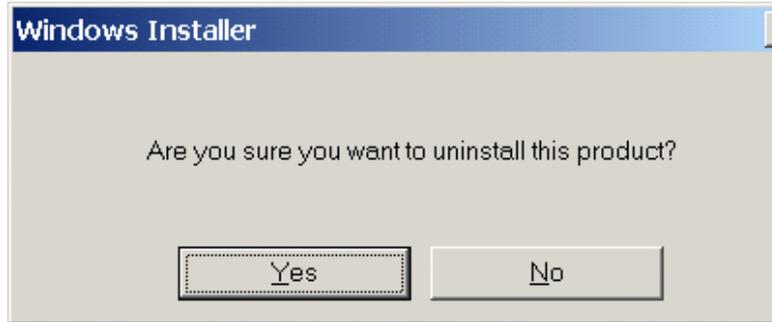
例 : GDM-8261



- ビューアソフトの削除
1. ウィンドウズのスタートメニューから **DMM Viewer** を選択し、**Uninstall** を選ぶ。



2. 「はい」を選択するとアンインストールを開始します。



アンインストーラは、ソフトウェアを削除し自動的に終了します。

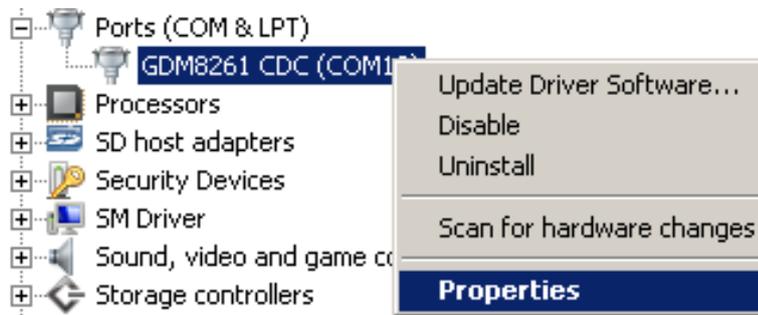
設定

1. PC の設定

1. PC が DMM を認識するために、**デバイスマネージャ**を開きます。
スタート > コントロールパネル > システム > デバイスマネージャ
 USBを使用する場合は、USB ドライバ(例: GDM8261 CDC)が **ポートセクション**にリストアップされている必要があります。
2. USBドライバ、RS232 接続のどちらかの COM ポートが割り当てられていることを確認してください。



3. ボーレートを確認するには GDM8261 アイコンを右クリックし**プロパティ**を選択します。



4. **ポート設定**タブをクリックしボーレートを確認します。



2.DMM ビューアの 設定

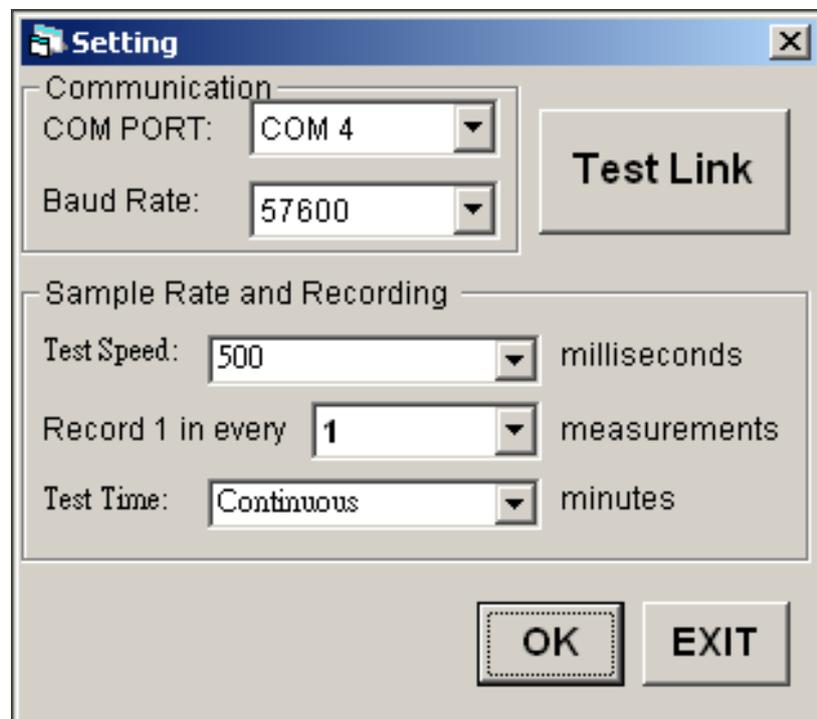
1. DMM ビューアを起動します。



2. **Setting(O)** メニューをクリックし設定ダイアログを開き下記の設定を入力します。
サンプルレートおよび記録の設定に関する詳細情報は、16ページの測定の項目を参照。



- COMポート: デバイスマネージャの設定
 - ボーレート: 115200 (またはこれ以上)
 - テストスピード: 500ms
 - Record 1 in every : 1 measurement (1回測定)
1回測定するごとに記録する。
 - テスト時間: Continuous (連続)
3. **Test Link** ボタンをクリックすると、ビューソフトとDMMは接続する(成功)、またはエラーメッセージが表示されます(fail)。
接続が確立すると、ポップアップメッセージにモデル名、シリアルナンバー、ファームウェアバージョンを表示します。

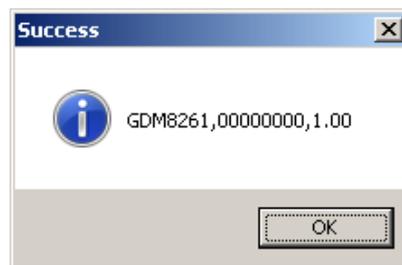


Setting(設定)

COM PORT	COM ポートの番号を指定します。 範囲:1~10
Baud Rate	ボーレートを設定します。 9600、19200、38400、57600、115200
Sample Rate and Recording	
Test	ソフトウェアが DMM からデータを取得する時間を設定します。 単位:[ms] 本体のリーディングレートとは関連しません。
Record 1 in every	設定された測定回数になるとデータを記録します。 記録/測定回数データログ時の記録時間
Test Time	データログ時間を設定します。単位:分 0.5、1、5、10、30、60、180、360、720、1440、Continue(連続)

成功

失敗



4. OK ボタンを押し、状態をセーブして Setting を終了します。



5. 測定を実行する。(19ページ参照)

測定

1. リモート接続の確立 7ページの接続、設定の手順に従ってください。

2.測定項目の選択 DMM ビューアの画面は DMM のフロントパネルキーと同じです。
DMM のフロントパネルと同じように測定キーをカーソルで押して使用してください。
DMM ビューアを変更すると、その変更が DMM に反映されません。
測定の詳細については、DMM 本体のユーザーマニュアルを参照してください。

通常の測定



3. 測定の開始 測定項目の選択後, START ボタンを押して測定を開始してください。測定結果が GDM のディスプレイと PC のデータフィールドの両方に、ほぼリアルタイムに表示されます。



ディスプレイ



データフィールド

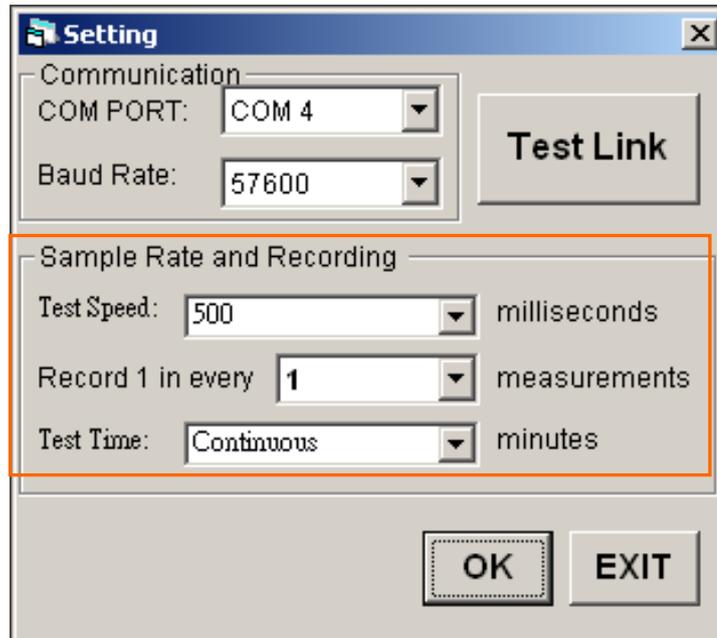
Point	Time	Actual Time	Mode 1	Display1	Mode 2	Display2
1	00:00:01	2011/06/14-10:03:17	DCV	000.0597_mV		
2	00:00:01	2011/06/14-10:03:18	DCV	000.0645_mV		
3	00:00:02	2011/06/14-10:03:18	DCV	000.0701_mV		
4	00:00:02	2011/06/14-10:03:19	DCV	000.0671_mV		
5	00:00:03	2011/06/14-10:03:19	DCV	000.0640_mV		
6	00:00:03	2011/06/14-10:03:20	DCV	000.0638_mV		
7	00:00:04	2011/06/14-10:03:20	DCV	000.0623_mV		
8	00:00:04	2011/06/14-10:03:21	DCV	000.0613_mV		
9	00:00:05	2011/06/14-10:03:22	DCV	000.0559_mV		

4. 測定終了 測定を終了するには START ボタンを再度押してください。ボタンの文字色が赤から黒に変わります。



設定

1. ドロップダウンメニューの **Setting(O)** をクリックしてください。設定パネルが表示されます。



テストスピード

2. **Test Speed** は、ソフトウェアがDMMからデータを取得する時間を設定します。
範囲: 25ms から 10000ms

注意

テストスピードは、本体のリーディングレートとは関係ありません。

記録スピード

3. **Record 1 in every** は、設定された測定回数 (Test Speed に依存します) に達するとデータを記録します。
記録/測定回数データログ時の記録時間スピードを選択します。
範囲: 1、2、5、10、30、60、180、360、600

テスト時間

4. **Test Time** は、データログ時間を設定します。連続または 0.5 分から 1440 分まで選択できます。測定は測定開始から決められた時間(分)が経過した時点で終了します。**Continuous** (連続) が選択された場合は、再度スタートボタンが押されるまで、測定を続けます。
範囲: 0.5、1、5、10、30、60、180、360、720、1440、または Continue(連続)

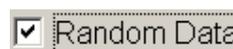
5. OKをクリックします。



測定項目のシュミレーション

DMM を動作させないで、それぞれの測定項目の動作を確認するために、Random Data 機能があります。Random Data 機能は、データを DMM ビューアに供給します。Random Data 機能は、DMM を接続すると無効になります。Random Data 機能を使うためには、全ての機器を PC から切り離すか電源を切ります。

1. Random Data のチェックボックスに



チェックをします。

Random DataにチェックをするとDMM ビューアはDMM が接続されたように動作します。他の設定は必要ありません。



注意

メイン表示のみランダムデータ機能が使えます。

サブ表示は使えません。

ランダムデータは設定メニューで選択されたサンプルレートでデータが表示されます。

メイン表示

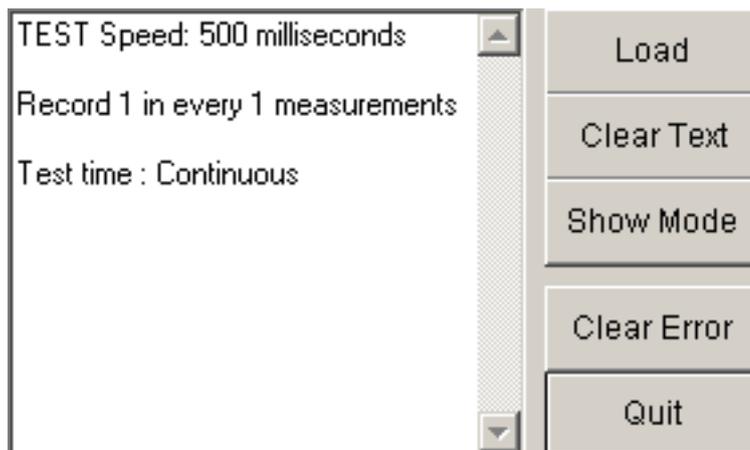
サブ表示



Point	Time	Actual Time	Mode 1	Display1	Mode 2	Display2
921	00:08:49	2011/06/14-10:12:05	DCV	000.0653_mV		
922	00:08:49	2011/06/14-10:12:06	DCV	000.0670_mV		
923	00:08:50	2011/06/14-10:12:07	DCV	000.0655_mV		
924	00:08:51	2011/06/14-10:12:07	DCV	000.0682_mV		
925	00:08:51	2011/06/14-10:12:08	DCV	000.0678_mV		
926	00:08:52	2011/06/14-10:12:08	DCV	000.0669_mV		
927	00:08:52	2011/06/14-10:12:09	DCV	000.0584_mV		
928	00:08:53	2011/06/14-10:12:09	DCV	000.0574_mV		
929	00:08:53	2011/06/14-10:12:10	DCV	000.0676_mV		

コマンド表示

コマンド表示は、Setting(設定)の Test Speed、Record Rate、Test Time 設定などを表示します。



コマンド表示のクリア **Clear Text** をクリックしコマンド表示部の表示内容を削除します。

Clear Text

測定モード表示

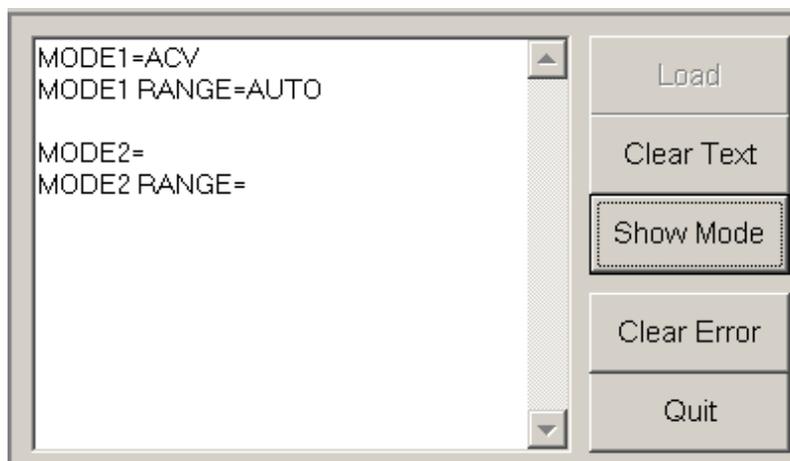
DMM の測定モードを確認するには、**Show Mode** ボタンをクリックします

MODE1 は、メイン表示の測定モードです。

MODE1RANGE は、メイン表示の設定レンジです。

MODE2 は、サブ表示のモードを表します。

MODE2RANGE は、サブ表示の設定レンジです。



エラーの削除

Clear Error をクリックしエラーを削除します。

Clear Error

プログラムの終了

Quit をクリックしプログラムを終了します。

Quit

グラフ作成、記録

測定データをグラフにプロットする為には、まず測定データを保存する必要があります。保存したデータを読み出ことでDMMビューワ上で測定データをグラフまたは表形式で表示できます。

この章は、データの保存の仕方やグラフ機能(オフライン)を説明します。

データ保存

データを保存するには、測定開始前に **Save Data** チェックボックスをクリックします。

保存機能を使う度に、必ずチェックボックスを再チェックして下さい。

まずデータを保存し、次にプロットします。データ保存をした場合は、以下の手順に従ってください。

1. **Save Data** の チェックボックスにチェックをします。 **Save Data**
 注意:すでにデータ保存をしている場合でも **Save Data** チェックボックスを再チェックして下さい。

2. ポップアップウィンドウからファイル名をタイプし、**OK** をクリックします。
(拡張子は不要です。)



ファイルは、ビューワがインストールされているディレクトリに保存されます。

初期設定のフォルダの場合:

C:\Program Files\DMM Viewer\SCAN DATA にテキストデータで保存されます。

3. **START** ボタンを押して測定結果を DMM ビューアプログラムディレクトリに保存します。



4. テスト時間経過を待ち、再度 **START** ボタンを押します。



注意

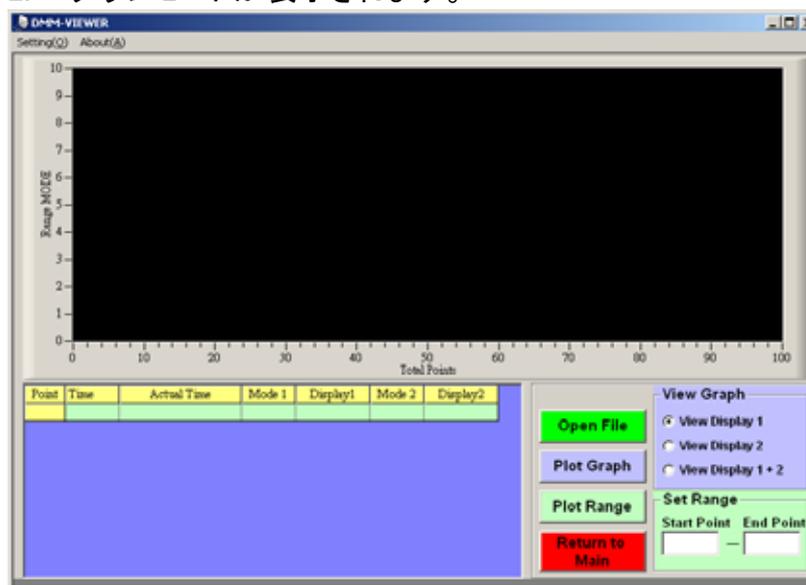
テスト結果は測定時間終了後か、スタートボタンが再度押された時に保存されます。

データの呼び出し

1. 画面の右下の **Load** ボタンをクリックしデータをロードします。



2. グラフモードが表示されます。



7. **Open File** ボタンをクリックします。



8. ビューアの中の測定保存ファイルが表示されます。ファイルを選択し **Open** ボタンをクリックします。
3. 測定データは画面の左下にあるデータ表示画面に表示されます。

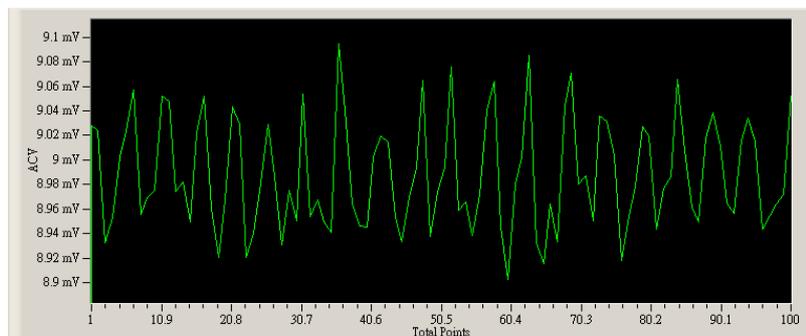
Point	Time	Actual Time	Mode 1	Display1	Mode 2	Display2
921	00:08:49	2011/06/14-10:12:05	DCV	000.0653_mV		
922	00:08:49	2011/06/14-10:12:06	DCV	000.0670_mV		
923	00:08:50	2011/06/14-10:12:07	DCV	000.0655_mV		
924	00:08:51	2011/06/14-10:12:07	DCV	000.0682_mV		
925	00:08:51	2011/06/14-10:12:08	DCV	000.0678_mV		
926	00:08:52	2011/06/14-10:12:08	DCV	000.0669_mV		
927	00:08:52	2011/06/14-10:12:09	DCV	000.0584_mV		
928	00:08:53	2011/06/14-10:12:09	DCV	000.0574_mV		
929	00:08:53	2011/06/14-10:12:10	DCV	000.0676_mV		

データのプロット

4. まずデータが保存され、ロードされたことを確認してください。

1. **Plot Graph** ボタンを押してください。データがグラフ表示されます。このグラフは“Mode 1” (第 1 ディスプレイ) を表示しています。

Plot Graph



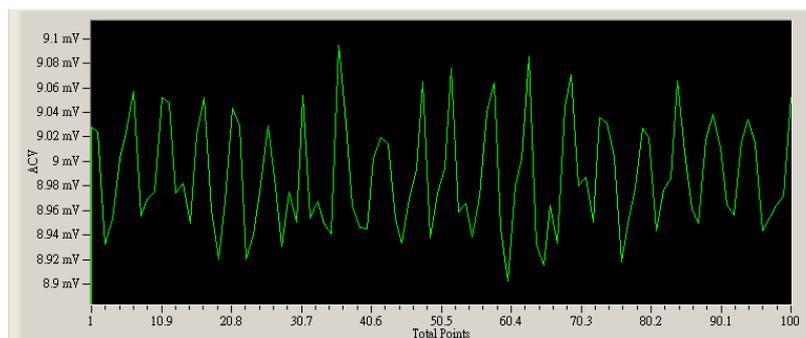
他の表示を見る。

View Graph パネルのどれかをクリックしてください。他の表示モードに入ります。

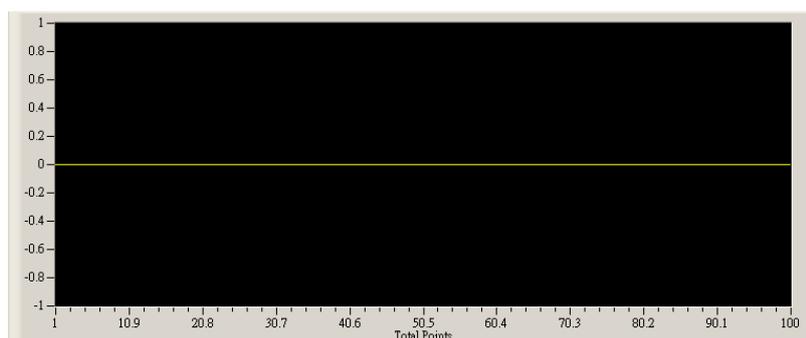
View Graph

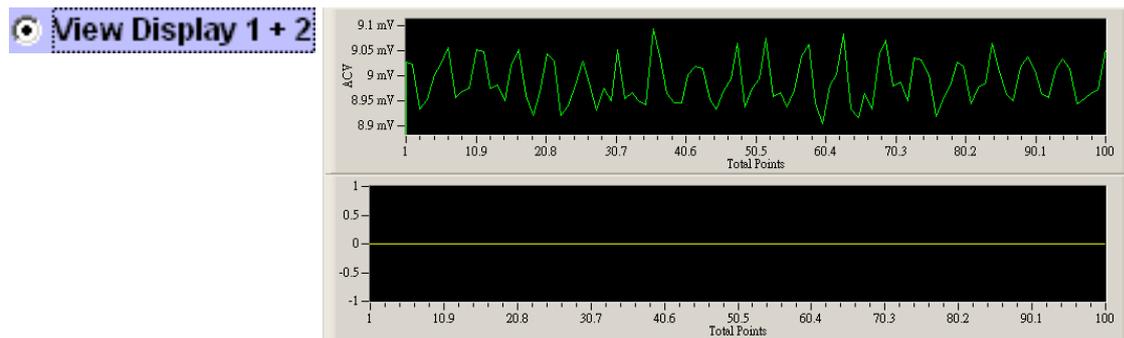
- View Display 1
- View Display 2
- View Display 1 + 2

View Display 1



View Display 2





表示範囲の変更

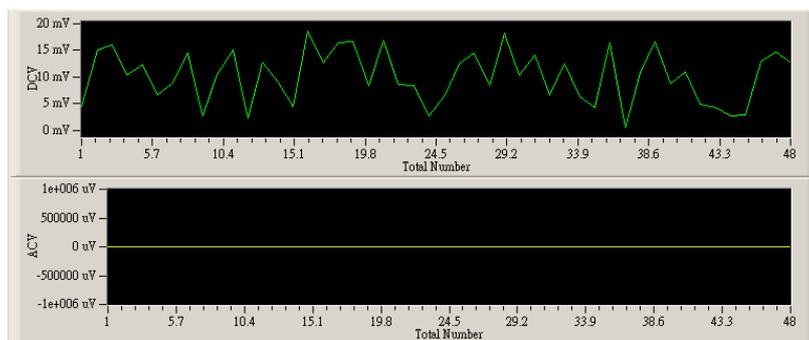
1. **Set Range** パネルでプロットのスタートポイントとENDポイントを設定できます。

2. **Start Point** ボックスをクリックしスタートポイントを入力します。
(初めに消去してください)

3. **End Point** ボックスをクリックしENDポイントを入力します。
(初めに消去してください)

4. **Plot Range** ボタンを押し新しい範囲を設定します。

グラフは新しい範囲で表示されます。



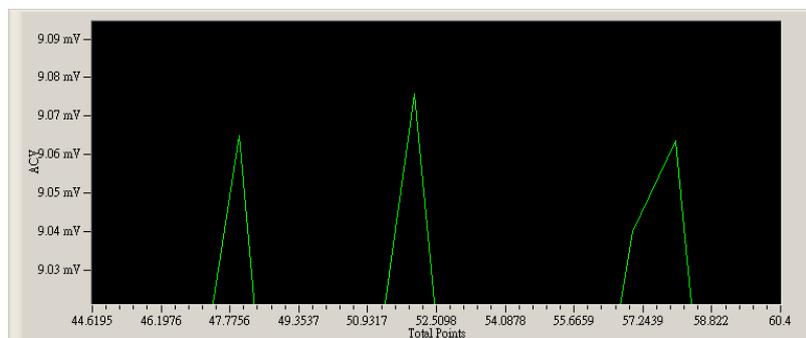
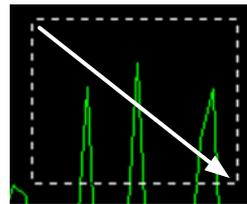
表示範囲のリセット

- Plot Graph アイコンをクリックし初期設定の範囲を表示します。

ズーム

5. マウスで選択された任意のエリアをズーム出来ます。

1. 選択する左上の角で左クリックしたまま右下の角にドラッグし、左クリックを離します。



ズームウインドウ内で何回でもズームング出来ます。



注意

この機能は、表示の拡大のみで、現在の設定は変更しません。

ズームの解除

Plot Graph または Plot Range ボタンをクリックし初期設定に戻します。

Graph show

Setting show

メインの表示に戻る

Return to Main をクリックしメイン表示に戻ります。

Return to
Main

スキャナ機能

1. リモート接続を確立 10ページの接続、設定手順に従い設定してください。
します。



注意

スキャナ機能は、DMM にオプションのスキャナが装着されている場合のみ有効です。



注意

スキャナのスキャン時間、データ取得時間は Setting 設定は反映されません。

スキャナモードには、SCAN モードと STEP モードの 2 種類あります。

SCAN モード

選択されたチャンネルを順次カウントしていき、それを繰り返します。

例 1

CH101 から 104 を ON にし、カウント数を 10、リポート回数を 5 と設定した場合 CH101 から順次測定し 10 個になったらデータを取得しそれを 10 回繰り返します。
この場合、CH101、CH102、CH103、CH104、CH101、CH102、CH103、CH104、CH101、CH102 の 10 個までの測定データを取得し、また、CH101、CH102、CH103、CH104 と繰り返します。

例 2:

CH101 から 104 を ON にし、カウント数を 4、リポート回数を 5 と設定した場合、CH101 から順次測定し 4 個までのデータを取得しそれを 10 回繰り返します。
この場合、CH101、CH102、CH103、CH104 の 4 個でデータを取得し、また CH101、CH102、CH103、CH104 と繰り返します。
。

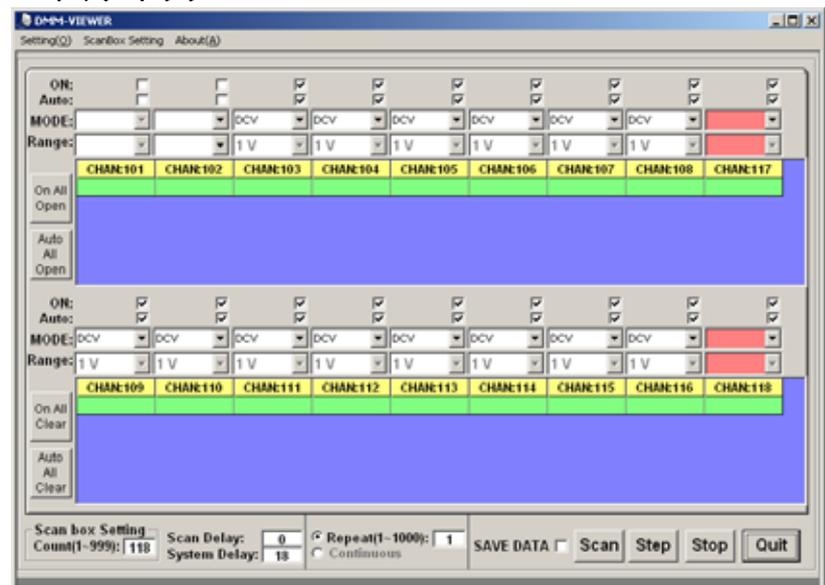
STEP モード

2. スキャナーモードの SHIFT キーをクリックし、次に SHIFT/EXIT
 選択 ACV(SCAN)キーをクリックし
 ます。



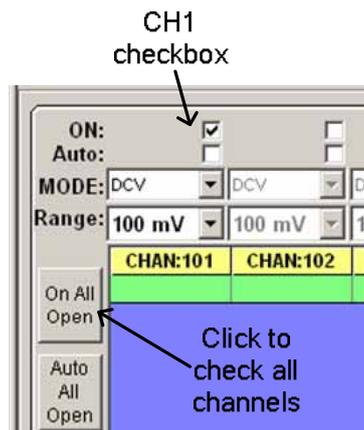
3. スキャンボックス設 スキャンボックス設定画面が表示され、チャンネル設定や
 定画面表示 モード設定ができます。

スキャナボックス

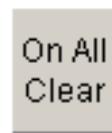


4. チャンネル選択の設定

1. 各チャンネルの上にあるチェックボックス(ON)をチェックして動作するようにします。
または、On All Open ボタンをクリックして全チャンネルをオンにします。

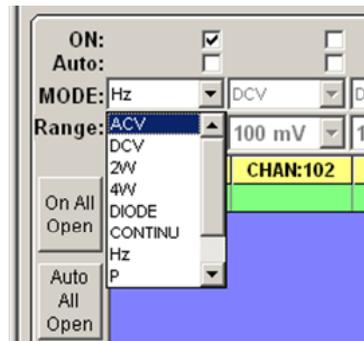


2. チャンネルを解除するにはチェックボックスのチェックを外します。全チャンネルをオフする場合には、On All Clear ボタンをクリックします。



5. チャンネルモードの設定

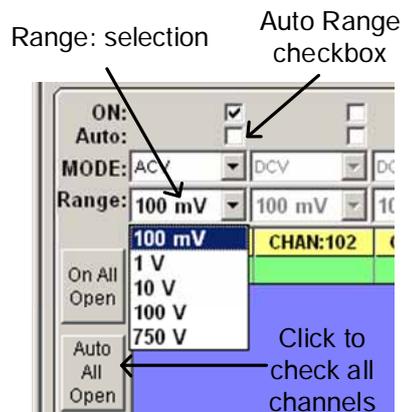
1. MODE のドロップダウンリストから各チャンネルのモードを選択します。



- | | | |
|--------------|-------|----------------------------------|
| チャンネル 1~16 | Mode: | ACV、DCV、2W、4W、DIODE、CONTINU、Hz、P |
| チャンネル 17, 18 | Mode: | ACI, DCI |

6. チャンネルレンジの設定

1. Range のドロップダウンリストから各チャンネルの測定レンジを選択します。
もしくは、Auto チェックボックスでオートレンジを選択できます。
All Open ボタンで全チャンネルをオートレンジに設定する事が出来ます。



2. オートレンジを解除するには、チェックボックスのクリックを外します。全チャンネルのオートレンジを解除するには **Auto All Clear** ボタンをクリックします。

Auto
All
Clear

7. スキャン設定

スキャンカウント

Scan Box Setting でスキャンカウントをセットします。

Scan box Setting
Count(1-999): 18

チェックの入っているチャンネルをスキャンしていきます。



注意

オーバーレンジ、トリガ待ちなど、測定が出来ないチャンネルがある場合、測定待ちでスキャンが止まります。

スキャン遅延

スキャンモードで、最初のスキャンループ後、連続したスキャンループの最初と次のチャンネル間のスキャン遅延時間を設定できます。
または、ステップモードにおける各チャンネル間のスキャン遅延時間を設定できます。

Scan Delay: 1

システム遅延

スキャンモードで、チャンネル間のシステム遅延時間を設定します。システム遅延時間は、ステップモードでは使用出来ません。

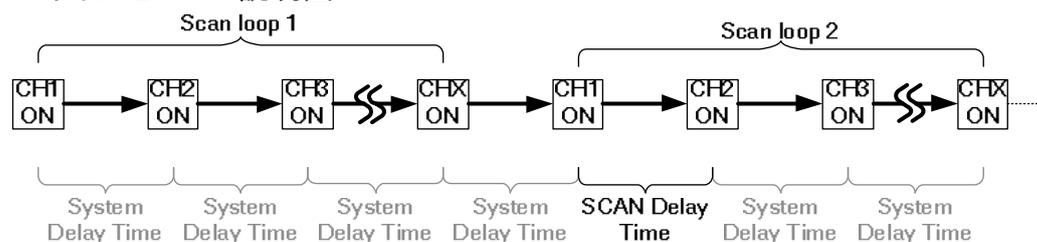
System Delay: 1

スキャン回数の設定

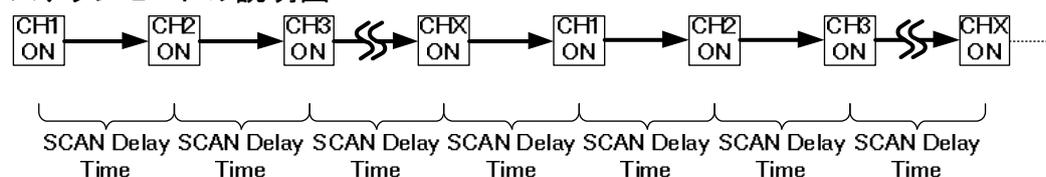
Repeat ボックスでスキャンの回数を設定できます。
1000 回まで設定できます。
または、**Continuous** で連続スキャンを設定できます。

Repeat(1-1000): 1
Continuous

スキャンモードの説明図



ステップモードの説明図



8. スキャン作動

全て設定をすると、スキャンを開始できます。

SCAN をクリックし 全ての有効なチャンネル(チャックが入っているチャンネル)をスキャンします。

STEP をクリックし 一度に一回だけそれぞれの有効なチャンネルをスキャンしていきます。

下記のようにデータ表示で、各スキャン後に測定結果を表示します。

ON:	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
Auto:	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
MODE:	DCV	DCV	DCV
Range:	1V	1V	1V
	CHAN:101	CHAN:102	CHAN:103
On All	012.8699 mV	013.1011 mV	012.7231 mV

Scan results

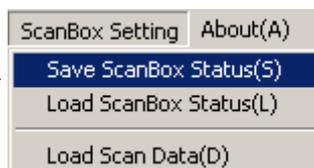
10. スキャンの停止

STOP を押すとスキャン中のスキャンを停止します。

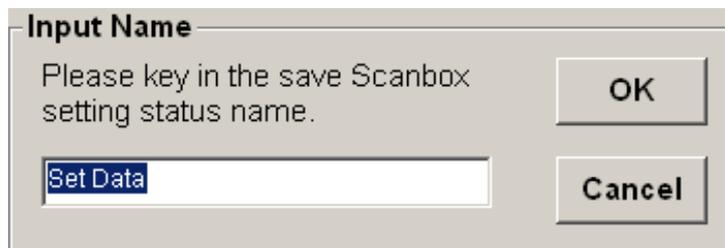
11. 設定の保存

全てのチャンネル、スキャンおよび回数の設定は保存、読出すことができます。

- 画面上部の **ScanBox Setting** ボタンをクリックしてください。
- Save ScanBox Status(S)** を選択します。



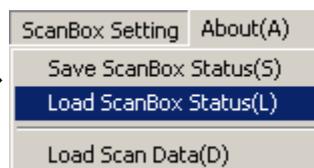
3. ポップアップウィンドウが現れます。
ファイル名を入力し OK をクリックします。



4. ファイル名が*.ini file.に保存されます。

12. 設定の読出し

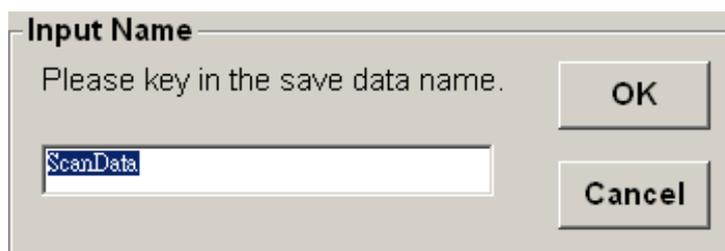
1. 画面上部の **ScanBox Setting** ボタンをクリックします。
Load ScanBox Status(S) を選択します。



2. ポップアップウィンドウが表示されます。
*.ini file を選択し読出します。

13. スキャン結果の保存

1. 画面上部の **SAVE DATA** チェックボックスをクリックします。
2. ポップアップウィンドウが表示されます。
ファイル名を入力し OK をクリックします。

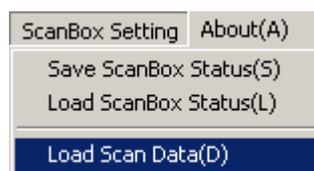


注意

スキャン結果をファイルに保存する場合、必ずスキャン開始前に **SAVE DATA** チェックボックスにチェックして下さい。

14. スキャン結果の読出し

1. 画面上部の **ScanBox Setting** ボタンをクリックします。
2. **Load Scan Data (D)** を選択します。



ファームウェアバージョンの確認

この章は、CD-ROMにあるファームウェアファイルとアップデートマニュアルへのアクセスについて説明します。

最新のファームウェアに関しては、地域の代理店にお問い合わせください。

ファームウェアの更新手順 1. CD-ROM メニューを開きます。詳細は8ページを参照してください。

2. **Firmware Update Procedure** ボタンをクリックします。

Firmware

3. **Firmware File** と **Firmware Update Manual** ボタンが表示されます。

Firmware File

Firmware Update Manual

4. ファームウェアアップデートの説明は、**Firmware Update Manual** ボタンをクリックしてください。PDFファイルが自動的に開きます。マニュアルの説明に従ってください。



5. ファームウェアへのアクセスは、**Firmware File** ボタンをクリックしてください。

ソフトウェアバージョン 最新のバージョンかどうかの確認の為に、バージョンの確認の確認が必要です。

1. DMM ビューアを起動します。
2. メインディスプレイ表示の **About(A)** メニュータブをクリックし、バージョンを確認します。



索引

CD-ROM の概要, 8
RS-232C の接続, 11
tilt stand, 19
USB ドライバ, 12
USB の接続, 10
インストール, 12
スキャナ機能, 28

ソフトウェアの削除, 13
データの呼出し, 24
データ保存, 23
ファームウェアのバージョン確認, 33
ファームウェアの更新 tilt stand, 33
先ず初めに, 7
測定, 19
目次, 4

製品についてのご質問等につきましては、下記まで
お問い合わせください。

TEL:045-476-5650 FAX:045-476-5650

E-Mail:info@instek.co.jp

HomePage: <http://www.instek.co.jp>

株式会社 インステック ジャパン

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜 2-6-3